

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

8月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

第22回 血糖値改善セミナーを開催しました

7月6日に糖尿病患者さま及びご家族を対象とした血糖値改善セミナーを開催しました。当日は梅雨時期には珍しく天候にも恵まれ、19名と多くの方にご参加いただきました。

まず、当センター代謝内科の川崎医師を講師に「検査結果の見方について」と「夏場の水分摂取について」と題し講演を行いました。糖尿病の患者さまは血液検査の結果に一喜一憂されますが、その値が何を示しているのかを正しく理解する機会が少ないため、アンケートでも「血糖値の基準や他の検査について聞いて良かった」との意見をいただくことができ、血糖値やHbA1c以外の項目にも着眼いただけるきっかけになったと感じております。続いて「夏場の水分摂取について」では、カロリー“0”や、糖分“0”表示の落とし穴など、成分表示確認の大切さや、脱水にならないための対策方法について講義を行いました。

次に、管理栄養士より「外食について～自分の摂



講義の様子

取カロリーを知ろう～」と題し、外食や総菜選びについて皆さんと一緒に学びました。講義では患者さまの身長と体重を測定し、必要摂取カロリーに見合ったメニューをご自身で選んでいただき、栄養が正しく摂取できているか等について管理栄養士4名も加わり活発に質疑応答を行いました。

これからも糖尿病対策委員会は、糖尿病の患者さまが、健康な方と変わらない生活をお送りいただけるようにチームで支援して参ります。

(文責：看護師長 請野 律)



外食カロリーチェック



資料展示

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

第22回血糖値改善セミナーを開催しました …… P 1

部門紹介: 薬剤科 …… P 2

医療最前線(115) …… P 3

オストメイト交流会 …… P 4

公開特別講演会・鹿本地域医療連携懇談会・  
 キャンサーボード・がんサロン …… P 5

外来担当医表(8月) …… P 6

## 薬剤科を紹介させていただきます

当センターの薬剤科は、薬剤師7名、薬剤助手1名体制で患者様が使用されるお薬を正しく安全にそして有効に使用して頂くために薬に関する様々な業務を行っています。業務内容は、医師の処方箋に基づく調剤業務を初め注射薬調剤、医薬品の在庫管理・情報管理などの通常業務の他、抗がん剤調製、薬剤管理指導業務（入院患者様の服薬指導・薬歴管理）、D I ニュース、持参薬鑑別を行っており、殆どの業務で取り扱い件数が年々増加傾向にあります。また、院内での連携としては各種チーム医療に積極的に参加し、NST・ブレステケア・糖尿病対策・緩和ケア・ストーマケア・キャンサーポード院内感染対策など総合的な薬剤利用の医療連携を図っています。

薬学生実習受け入れでは、薬学6年制における長期実務実習（11週）を毎年受け入れております。その他、地域や市民の方への貢献事業として、市民出前講座を市内各地域に出向き開催しています。主な題材は「おくすりの基礎知識」として高齢者の身体と薬について、薬の飲み方や飲み合わせ副作用について紹介いたします。また自己研鑽のとりくみとしては、当院の医療研修センター研修プログラムの一環として、薬剤師会の協力のもと薬剤師公開研修会を年2回開催し、毎回多数の調剤薬局・病院薬剤師の先生方にご出席頂いており誠にありがとうございます。今後ともご参加の程よろしくお願いいたします。その他、各種学会・セミ

ナー・研修会への参加・発表など多岐にわたって研鑽をつんでいるところであります。

以上ご照会しましたとおり、少ない人員ではありますが、微力ながら当院の基本理念であります「地域住民の生命と健康への貢献」に基づき日々努力しているところであり、今後とも病一薬：薬一薬連携を深めていきたいと思っておりますのでご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

〈認定〉

- ☆日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師
- ☆日本病院薬剤師会認定実務実習指導薬剤師
- ☆日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
- ☆がん薬物療法認定薬剤師
- ☆日本糖尿病療養指導士
- ☆熊本県薬剤師会災害支援薬剤師
- ☆熊本県肝疾患コーディネーター

（文責：副薬剤科長 金森 浩明）



薬剤科スタッフ



クラス2安全キャビネット



## 医療最前線 (115)



循環器内科  
大庭 圭介 先生

### 最近1年間の循環器科入院症例の検討

当センター循環器科は平成22年度から常勤1名となりました。平成24年度より、前任の福田医師から私が引き継いで、早いもので今年度で8年目を迎えます。平成28年度からは名幸医師と念願の2名体制となり、久保田医師、清水医師と引き継がれながら、同体制を維持しております。

丁度5年前（1名体制時）にこのページで、1年間の入院症例検討を行っておりましたので、久しぶりに最近1年間のまとめと、以前との比較を行ってみました。

当科ではこの1年で、入院総数が235名でした。5年前は191名でしたので、増えこそはしたものの、2名体制ですのでまだまだ頑張らないといけません。是非、先生方からの御紹介を宜しくお願い致します。なお平均在院日数は21.6日（5年前は18.7日）でした。

主病名の内訳では、心不全72例が最多でした。およそ入院の3分の1で、5年前は39例でした。心不全症例の増加は一般的な話ですが、改めて実感したところです、在院日数にも影響していることでしょう。

その他、狭心症7例、心筋梗塞2例、急性大動脈解離2例、心筋症5例、肺塞栓症2例、不整脈例7例、心肺蘇生後が2例、心外膜炎・感染性心内膜炎・心筋炎が各1例でした。

また、内科当番や救急当番も担っており、細菌性肺炎28例、誤嚥性肺炎5例、間質性肺炎2例、蜂窩織炎3例、ほか感染症7例、悪性腫瘍7例、脳血管障害急性期6例、腎不全10例でした。

これらの転帰は、治癒51例、軽快141例、転科12例、高次医療機関への転医12例、死亡18例、不変1例でした。

感染性心内膜炎2例、弁膜症1例、不整脈（ペースメーカー交換術2例を含む）10例、高血圧症1例、低血圧症（ショックを含む）5例、心肺停止蘇生後3例、肺炎18例、外傷11例、その他が53例でした。死亡症例の内訳は、心疾患4例、肺炎4例、腎不全4例、悪性疾患4例、多臓器不全2例でした。

現在当科の入院診療はこのような状況です。まだまだ満足できるものではなく、今後も地域の皆様と協力して、より良い診療を目指して行きたいと思えます。患者様ないし御家族、また医療機関様からの御意見がありましたら、忌憚なくお聞かせ下さい。

今後とも御指導、御鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

### 原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

## 熊本県オストミー協会 城北(山鹿/菊池)地区支部総会に参加して

7月20日に令和元年度オストミー協会熊本県支部城北地区支部総会（オストメイト交流会）が当センターの医療研修センターで開催されました。当会は日本オストミー協会熊本県支部主催で開催するもので、今回はオストメイト13名、家族3名の他、大腸肛門病センター高野病院 前田 勝会長、高野病院スタッフ2名、栄養士1名、日本オストミー協会熊本県支部相談役1名が参加し、交流を図りました。

まず、県支部会長の挨拶があり、「これからは、外出時の対策、災害時の対策、老後の対策の三本柱で不安解消に努めていかなければなりません。また、自身でも熊本地震を体験し、オストメイト対応トイレがなく、とても大変でした。宮崎県にオストメイト対応トイレの要望をしたところ、届いたのが3週間後でした。そのときは、自宅へ戻っていたため、結局使用することはありませんでした。装具の申請も、役場が対応困難な状況だったため、自分で要望をしてもすぐには届かず、装具2枚で避難の期間を乗り切りました。災害対策は、自分がその立場に立たないと大変さがわからないものだと、痛感しました。これから先も、どのような災害に見舞われるかわからないため、災害対策は自分で事前しておくことが大切です。」と話されました。

その後、患者様の自己紹介、業者・高野病院ス



参加スタッフ紹介

タッフ・当院スタッフの自己紹介、高野病院会長の挨拶がありました。

さらに、日本オストミー協会熊本県支部相談役は挨拶の中で、「熊本地震で阿蘇在住の方が、装具をすべて流されたということがありました。そのため、普段から自宅の周囲を見渡して、安全な場所を探して、分散保管をしてください。装具は、熱に弱いので、車内に長時間置いておくことは避けてください。また、分散している装具は、定期的に新しい装具と取り替えてください。さらに、いつ自分に何が起きるかわからないので、常に手元に装具を1～2枚持っておいてください。」と話されました。

その後は、県支部会長の進行で現在困っていることや経験したことなどの情報共有が行われました。熊本県オストミー協会では、オストメイトサロンとオストメイト交流会の2つを推進されています。

今回、当院のストーマチームのスタッフも熊本県オストミー協会城北地区支部総会に参加し、貴重な体験をさせていただきました。今後、ストーマ造設をされている患者様によりよいケア・知識の提供ができるように努めていきたいと思っています。

(文責：副看護師長 松本 明美)



交流会の様子

## ご案内

### 第43回公開特別講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1.5単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名  
46.咳・痰 73.慢性疾患・複合疾患の管理 79.気管支喘息

下記により第43回公開特別講演会を開催致します。  
多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典  
山鹿市病院事業管理者 豊永 政和

記

日時：令和元年9月13日(金) 19:00～  
場所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター  
演題：「長引く咳・喘息・COPD」  
座長：山鹿市民医療センター

院長 別府 透 先生  
演者：熊本大学大学院 生命科学研究部  
呼吸器内科学分野 教授 坂上 拓郎 先生  
会費：無料

お問い合わせ先 📍山鹿市民医療センター  
事務部経営管理課 樋口、迎田  
TEL：0968-44-2185 (内線608)

### 山鹿 がんサロン

### 第36回がんサロン開催のご案内

患者さん・ご家族同士の交流の場です  
お茶を飲みながら、体調のこと、お薬のこと、日頃の不安なこと等一緒に話したり、情報交換をしませんか？

あなたの参加をお待ちしています

開催日時：令和元年8月3日(土)  
10:00～11:30  
場所：山鹿市民医療センター 医療研修センター(1F)  
内容：①ミニ講演会『熱中症について』  
救急看護認定看護師 川口 文香  
②交流会

お問い合わせ先 📍山鹿市民医療センター  
地域医療連携室内 がん相談支援センター  
担当 村上・福島  
TEL：0968-44-2185

### 鹿本地域医療連携懇談会の開催について (ご案内)

記

日時：令和元年8月2日(金) 午後6時45分～  
場所：ゆとりろ山鹿  
(山鹿市宗方通702 TEL:0968-44-8111)

会費：6,000円

内容：(1)地域医療連携の状況報告  
熊本市立植木病院  
山鹿市民医療センター  
(2)意見交換  
(3)その他  
(4)懇親会

お問い合わせ先 📍山鹿市民医療センター  
事務部経営管理課  
TEL：0968-44-2185 (内線608)

### がんサロンのご案内

当センターでは県指定のがん診療連携拠点病院として鹿本医療圏のがん診療に積極的に携わっており、消化器内科・腫瘍内科・消化器外科・放射線科・病理診断などの各科医師と、看護師、薬剤師、診療放射線技師、ソーシャルワーカーなど他職種メンバーが、がん患者の症状や治療方針について意見交換を行う「がんサロンの開催」を開催しております。興味のある先生方は、是非お気軽にご参加ください。皆さまのご参加をお待ちしております

日時：毎月第2水曜日 17:30～18:30  
場所：山鹿市民医療センター 1階 医療研修センター  
内容：前半：皮膚障害をきたした患者の日常生活指導と多職種連携  
副看護師長 竹田 由香里  
後半：症例呈示  
参加費：無 料

お問い合わせ先 📍山鹿市民医療センター  
医療技術部 薬剤科 柴田 佳代  
TEL：0968-44-2185 (内線758)

## 外来担当医表

8月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※御任 玲美	※猪山 慎治	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	※陶山 浩一	—	—
消化器内科	千代永 卓 本原 利彦	柚留木 秀人	本原 利彦	千代永 卓 柚留木 秀人	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※海北 幸一 清水 博/大庭圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 松原秀太/中西浩一郎	工藤 智志 松原 秀太 中西 浩一郎	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 佐藤 伸隆	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一	手術 (担当医)	別府 透 木下 浩一
乳腺外科	—	※末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※山崎 浩藏	—	※非常勤医師	—
小児科	※石井 真美	—	※石井 真美 予防接種(午後)	※石井 真美	—
セ ン タ ー 器	耳鼻咽喉科	—	※深見 直美	—	※非常勤医師
	眼科	草野 雄貴	草野 雄貴	草野 雄貴	草野 雄貴
産婦人科	値賀 さくら 福島 泰斗	福島 泰斗 値賀 さくら	値賀 さくら 福島 泰斗	福島 泰斗 値賀 さくら	値賀 さくら 福島 泰斗
※片渕美和子(午後) 8/6(火)、8(木)、13(火)、20(火)、22(木)、27(火)					
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介	吉岡 明子	外科医(午前) 担当医(午後)

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から5時までをお願いします。

◎小児科診療時間は9:00から16:30(受付は16:00)迄となります。予防接種は水曜日の午後に完全予約制となります。

※は、熊本大学病院等からの非常勤医師です。

## 特殊・専門外来

8月

名称	担当医等	実施日	診察場所
緩和ケア外来(予約制)	佐藤 伸隆	毎週 月曜・水曜(11:00~12:00)	Bブロック
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片渕美和子	8/6(火)、8(木)、13(火)、20(火)、22(木)、27(火)	
PEG外来	担当医	隔週 第2・4水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地  
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420  
<http://yamaga-medical-center.jp>